

はじめに

本県の人口に占める65歳以上人口の割合は25%を超え、4人に1人以上が高齢者となりました。そのうち8割以上の人は介護を必要としない、元気な高齢者です。

少子高齢化で生産人口が減る中、元気な高齢者が豊かな知識と経験を生かして、社会で活躍することが不可欠であり、そのための環境づくりが重要となっています。

また、さらに高齢化が進み、2025年（平成37年）には、医療と介護のリスクが高まる75歳以上人口が急増すると見込まれています。今後、要介護高齢者等が可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、各地域に包括的な支援・サービス提供体制「地域包括ケアシステム」を構築していくことが必要となっています。その仕組みづくりにおいて、元気な高齢者の地域の「支え手」としての活躍が期待されています。

県では、このような背景のもと「第2期ぐんま元気・活躍高齢者プラン」（以下「プラン」という）を策定しました。このプランは、元気高齢者に対する生涯学習支援、社会貢献支援、就業支援など、県として取り組むべき施策や事業を部局横断的、体系的に取りまとめ、幅広い観点から総合的に元気高齢者を支援しようとするものです。

プランでは、「能力や経験を活かし、地域の『支え手』として生き生きと活動する」元気高齢者像と、そのための「元気高齢者が活躍しやすい社会」、「社会参加・社会貢献の場が充実した社会」、「働く意欲や能力を発揮できる社会」を目指しています。

この度、プランの策定に併せて、元気な高齢者のみなさんが活躍している事例、今後活躍が期待されている活動などを、プランが目指す分類に沿って紹介するため、「元気高齢者活躍事例集」を作成しました。

この事例集を、元気な高齢者のみなさんの社会参加・社会貢献の参考に使っていただければ幸いです。